

# 司書講習実録②

～図書館司書資格取得を目指すあなたへ～

蒲原 裕美（2007年度生）

こんにちは。いよいよ前期試験、そして夏休みがはじまります。  
講習参加予定の現3年生は既に大方の準備が整ったころではないでしょうか。

前回は司書講習の基本情報を紹介したので、今回は具体的な前準備～受講について書きたい  
と思います。

文字ばかりで長々と綴りますが、興味のある方はご参考までに。

## 学校の試験はどうすればいいの？

司書講習は尾道大学の前期試験と日程が重なることがあります。

（例：広島文教女子大学…7月21日～9月18日）

（例：別府大学…8月2日～9月27日）



- 自分の試験・レポートの日程と司書講習の日程を早めに確認しておきましょう！
- 受講を決めた時点で、受講している講義の先生にその旨を相談しましょう！  
↳毎年司書講習を受ける学生はいるので、先生方はやさしく対応して下さいます♪
- 場合によっては通常より試験ないしレポートの対策を早めには取らなくてはなりません。  
準備と心構えを早めに♪  
（…ほんとに、早めに。レポートの締め切りと、司書講習のスタートが重なると、正直しんどいです。正直。）



## 住むところは どうしよう？

### 私の場合

私は文教の近くにウィークリーマンションを借りました。

可部駅から無料のスクールバスが運行されていて、それを利用させてもらえるので、便利な可部駅の近くの部屋を選びました。

不動産屋さんや、斡旋業者さんへ早めに相談するとよいでしょう。

↑ 期間限定の割引などもありました。

(学生の私たちは、まだ自分だけのサインでは部屋を借りることすらできません。(多分ね。私はそうでした。) かかるお金も少なくありません。両親や保護者のサインが必要になります。書類のやり取りをする時間も見越して準備したほうがいいと思います……)

友人とシェアなんかできたら大分お得ですかね。

また、一駅違うと家賃も変わってきます。実際可部駅ではなく、1～2駅向こうに部屋を借りて、電車→バス通学をしていた人もいました。

何を重視するかは自由ってやつです。

とにかく……何はともあれ先立つものが…という話になります。



## 現実的なお話をしましょう

受講料だけで諭吉さん×9人です。あっぷあっぷ。

2か月分の家賃(光熱費込・敷金礼金無し)…野口さん×100～150人。

もうおなかいっぱい。

あと教科書代も必要ですね！

これは**借りられるものは借りる、貰えるものは貰う**、と工夫をしましょう。

私も一部先輩に安く譲っていただきました。(年によって講師が変わったり、本そのものが改訂されたりという場合もあるので、要注意ですが)

そして私も後輩に貸出しました。

アルバイトなり貯金なりをしておくべきかと。

あとは、お父さんお母さん本当にありがとう。

感謝感謝。いつか還元できますように。

いざ!?

いよいよ引っ越しです。

父に頼んではるばる九州から車で来てもらいました。

私は佐賀県出身です。別府大学、九州国際大学で受講すれば多少のお金は浮いたかもしれないし、家族との行き来も楽にできて、楽しい夏休みになったかもしれません。

では何故文教で受講したか？

……バイトを休めなかったから！

平日は無理ってことで何とか休みをもらったのですが。

広島からだったら日曜は来られるよね、という 無茶振り によって。

私の夏休みの日曜は泡と消えました。月～土：授業。日：バイト。

…バイトのために可部→広島→尾道。

月曜はもちろん朝から授業なので日曜の夜再び可部へ。部屋に帰りついたらもう日付変わりそうな時刻。泣きたくなります。

……はっ。どうでもよい話でした。つい。笑←

今度こそ、いざ！

あまり細かいことを言うと、未知への遭遇というドキドキを奪うことになるので(笑)  
大雑把に、心構えのようなものを。

なんでもバッチコイな人はぶっつけ本番行き当たりばったりで行動するといいいでしょう。できるでしょう。

**が**、私はどちらかという初めのことにはびくびくする性質なので、前日にバスの時間と乗り場を確かめて、軽く駅周辺を下見して、文教の校門の様子も見に行きました。

はいはい、チキンです。……いや、慎重で繊細だと言っていたきたい。

受講校の HP などは結構重要です。目を通しておくと助かることがあるかも。

とりあえず、初日前、書類はしっかり読んでおくのは**当然のこと**ですね。

大概のことは書いてある通りに進むので安心してください。

写真の用意が必要な場合がありますので、そういう細かいところにも気をつけましょう。

忘れ物などをしてわたわたしていたら、最初から躓いたみたいで(躓いているのですが)

なんだか気持よくないですよ。職員さんにもご迷惑をおかけすることになります！

はりきっていきましょう。

## 受講中

受講生は大学生ばかりではありません。受講資格を見たらわかるように、私たちは一番の若輩者です。主婦の方もいれば、ご年配の方もいます。

普段の大学の講義とは様子が違って新鮮！

受講前に名前順にグループわけをされています。（文教の場合）

このグループで、教室の掃除をしたり、演習を一緒にしたりします。

年代の違う人と親しくするいいチャンス！

私は尾道大学生があと4人一緒だったので、どうしても身内で固まりがちでしたが、それでも別の大学からきた学生ととても仲良くなりました。

同じ資格を取ろうとしただけあって、少なからず通じあうものがあったのかも。

講義の様子としては、集中講義が2か月続くと思ってください。

しんどいです。それぞれの講義に単位認定のテストやレポートがあります。

でも、先生の話をしっかり聞いて、ノートを根気よくとれば、大丈夫！

現役の学生なのだから！……どうしても疲れがたまって、眠気との戦いになることは覚悟しましょう（私だけ！？）。

短い講義期間で単位を認定してもらうために、遅刻・欠席には厳しいです。

これは自己管理が必要ですね。何かあったら報告連絡相談！職員や講師の先生方はとてもいい方たちです。自分から行動せずに自分が損をするようなことがあってはつまらないですよ。

しばらくしたら、普段とは違う学校を楽しむ余裕もでてくるでしょう。

うちとは違うラインナップの自動販売機…食堂のメニュー…図書館の蔵書…人間関係。

何より、講義の内容が興味深いです。

実際に図書館業務に携わっている先生や、文教の教員の方の講義は新鮮で刺激的。

施設見学で、図書館の裏側を見せていただくこともできました。

図書館、図書館司書に対する問題意識や認識がガラリと変わります。

さあ図書館の世界へ！

.....

如何でしたでしょうか。少しでもお役に立てたら、また、興味のきっかけになったら幸いなのですが……。

ご意見ご感想質問相談等ありましたら、お気軽にどうぞ！

（以上は2010年度受講の記録です）